【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】令和1年8月15日(2019.8.15)

【公開番号】特開2018-196227(P2018-196227A)
【公開日】平成30年12月6日(2018.12.6)
【年通号数】公開・登録公報2018-047
【出願番号】特願2017-97602(P2017-97602)
【国際特許分類】
Ｈ０２Ｍ　7/48　(2007.01)
Ｂ６０Ｒ　16/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０２Ｍ　7/48　Ｊ
Ｂ６０Ｒ　16/02　６６０Ｑ

【手続補正書】
【提出日】令和1年7月2日(2019.7.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
電圧値により電気的に絶縁された２つ以上の電気回路（２０，３０）と、
前記２つ以上の電気回路にそれぞれ設けられる少なくとも2つ以上のマイクロコンピュータ（２３，３２）と、を備え、
２つ以上の信号入出力部（２１，２２）を介して伝達される信号により駆動されるように構成されており、
前記マイクロコンピュータのうちの１つには、
前記信号入出力部から直接伝達される第１信号と、
前記信号入出力部から他の前記マイクロコンピュータを介して伝達される第２信号と、のそれぞれが伝達され、
前記第１信号と前記第２信号とが互いに不一致であった場合には異常処置を行うように構成されている車載高電圧電気装置。
【請求項２】
補機（５０）を駆動するための駆動回路（３１）を備え、
前記２つ以上の信号入出力部は、前記マイクロコンピュータと信号伝達する第１信号入出力部（２１）と、前記駆動回路に直接信号を伝達する第２信号入出力部（２２）と、からなる
請求項１に記載の車載高電圧電気装置。
【請求項３】
前記第２信号入出力部は、前記マイクロコンピュータのうちの少なくとも１つ以上のマイクロコンピュータに前記第２信号入出力部の信号を直接伝達する
請求項２に記載の車載高電圧電気装置。
【請求項４】
前記第２信号入出力部は、前記マイクロコンピュータの全てに前記第２信号入出力部の信号を直接伝達する
請求項２に記載の車載高電圧電気装置。
【請求項５】

前記２つ以上の信号入出力部は、前記マイクロコンピュータと信号伝達する第１信号入出力部（２１）と、少なくとも一つ以上の前記マイクロコンピュータと直接信号伝達する第２信号入出力部（２２）と、からなる
請求項１に記載の車載高電圧電気装置。
【請求項６】
前記２つ以上の信号入出力部は、前記マイクロコンピュータと信号伝達する第１信号入出力部（２１）と、全ての前記マイクロコンピュータと直接信号伝達する第２信号入出力部（２２）と、からなる
請求項１に記載の車載高電圧電気装置。
【請求項７】
複数の前記マイクロコンピュータ間に少なくとも２つ以上の信号伝達部（Ｗｂ４，Ｗｂ５，Ｗｂ６）を備え、
前記信号伝達部の少なくとも一つ以上は信号入出力部（２２）が伝達する信号の専用線による信号伝達部である
請求項５又は６に記載の車載高電圧電気装置。
【請求項８】
前記信号入出力部のうちの１つから伝達される信号は、当該車載高電圧電気装置の起動停止信号である
請求項１～７のいずれか一項に記載の車載高電圧電気装置。
【請求項９】
当該車載高電圧電気装置に動作指令を行う上位の車両制御装置（６０）と、
高電圧電源から供給される電圧が所定値を下回ったか否かを判定する電圧過小異常判定部と、を備え、
前記起動停止信号が起動状態の場合に、前記電圧過小異常判定部の判定情報を前記上位の車両制御装置に送信する
請求項８に記載の車載高電圧電気装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
上記課題を解決する車載高電圧電気装置（１０）は、電圧値により電気的に絶縁された２つ以上の電気回路（２０，３０）と、２つ以上の電気回路にそれぞれ設けられる少なくとも２つ以上のマイクロコンピュータ（２３，３２）と、を備え、２つ以上の信号入出力部（２１，２２）を介して伝達される信号により駆動されるように構成されており、マイクロコンピュータのうちの１つには、信号入出力部から直接伝達される第１信号と、信号入出力部から他のマイクロコンピュータを介して伝達される第２信号と、のそれぞれが伝達され、第１信号と第２信号とが互いに不一致であった場合には異常処置を行うように構成されている。